

連載15

住み替えを 選んだ人のその後

栗原道子



指定就労継続支援B型事業所である。

代表の光枝茉莉子さんは、以前は東京都福祉保険局で8年間働いていた。その間に、障がい者の職業選択の幅の狭さや、工賃の安さに疑問を持ったという。また、それらの問題を解決するため、なぜ福祉施設が自ら立ち上げられないのかも感じていた。

行政の補助金や給付金に全面的に頼るのではなく、事業所自身が自立した経営を目指すこと、また障がい者自身も経済的に自立できるように支援したいと

考え、30歳になる直前の都庁在職中に、法人を設立した。その後まもなく退職し、アプローチ南青山を開設した。

東京都港区南青山は、高級感漂うおしゃれな街。そこに建つビルワンフロアに「アプローチ南青山」がある。知的・精神障がいや発達障がいのある人たちが、フラワーアレンジメントの技術を学びながら働く場として、2014年4月にオープンした東京都



代表の光枝茉莉子さん

花を扱う仕事にしたのは喜んで、楽しく働けるものという思いから。花は誰かを喜ばせたり、励ましたり、気持ちを伝えられたりできる。イベント等で自分がアレンジした花が飾られれば、スタッフが自身の仕事の成果を実感し、自信を持てるようになる

花を扱う仕事にしたのは喜んで、楽しく働けるものという思いから。花は誰かを喜ばせたり、励ましたり、気持ちを伝えられたりできる。イベント等で自分がアレンジした花が飾られれば、スタッフが自身の仕事の成果を実感し、自信を持てるようになる

アプローチ南青山の利用者は、区内の保健所や計画相談事業所等からの紹介で来る人

東京・港区「アプローチ南青山」

フラワーアレンジメントで就労支援



スタッフは様々なアレンジの花を手がける

しかし当初は、光枝さんは

花は純粋に商品として販売しているため、クオリティーの高くないものでないとい

光枝さんの目標は、人通りに面した店舗を持つこと。注文を受け、客の好きな花をその場で話し合いながら、一緒に選ぶという対面の仕事は、社会との接点を持ちづらい障がい者にとって、回復の手助けになるのではないかと考えている。



母の日のメッセージカード

生きたらさや動きつらさを抱えた人が、社会の中で働けるように自立していく姿は、他の障がいをもちた人への応援にもなる。その二つの方法として、花屋さんを持つことを目指し、日々活動している。

酸素は私たちが生きていく上で必要不可欠な要素で、私たちが呼吸している空気中には酸素が約21%含まれている。これは大気中の酸素濃度を表している。酸素濃度が低下すると、私たちの身体は様々な問題を抱えることになる。

酸素は私たちが生きていく上で必要不可欠な要素で、私たちが呼吸している空気中には酸素が約21%含まれている。これは大気中の酸素濃度を表している。酸素濃度が低下すると、私たちの身体は様々な問題を抱えることになる。

身 団 塊 半歩先の 新型コロナウイルス Q&A